

科 目	農業気象学	講義 2 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	宮澤 信			
授業の到達目標	気象環境が農業生産にどうかかわるのかを理解できるようにする。			
授業概要	気象・気候について農業生産の観点から解説する。			
使用教科書	天気と気象のしくみ			
主な参考図書	講師作成資料			
成績評価の方法	試験の結果、履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。 試験は100点法により行い、50点以上を合格とする。50点未満の学生には再試験を行うことができる。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 気象と地球の大気	地球を包む大気、大気を動かす太陽エネルギー、大気の大循環、貿易風と偏西風、前線、低気圧と高気圧等
2 気象変化の基本としくみ	風・雲・雨・雪・雹・霧・雷ができるしくみ
3 天気図と天気予報	天気図の見方、等圧線と風力の関係、気象レーダーとアメダス、天気予報のしくみ、気象観測
4 日本の天気	春一番、移動性高気圧、梅雨前線、フェーン現象、台風のしくみと進路、冷夏と猛暑、木枯らし1号、小春日和
5 異常気象と地球環境	集中豪雨、猛暑、豪雪、急速に発達する低気圧、エルニーニョとラニーニャ、地球温暖化と異常気象
6 世界の気象	世界の気候分布図、各地域の気象(アジア、オセアニア、ヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカ、アフリカ、北極・南極)

科 目	農業機械学	講義 3 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	樋口 康弘			
授業の到達目標	農業管理における、圃場管理機械の使用方法や安全講義、大型特殊機械などの免許取得に向けた指導			
授業概要	圃場管理業務に使用する管理機械の構造説明や使用方法、操作方法、安全講義			
使用教科書	農業機械入門			
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・機械操作の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 大型特殊機械(トラクター)の免許取得	<p>大型特殊機械の免許取得にむけての構造や操作方法、安全講義、公道での運転についての講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラクター操作の基礎知識</li> <li>・道路走行注意事項</li> <li>・農作業安全</li> </ul>
2 小型特殊機械等(運搬車、管理機)の操作方法、安全講義	<p>小型特殊機械の操作方法、安全講義、簡単な修理についての講義</p>
3 車両系建設機械(バックホー)の免許の取得	<p>車両系建設機械の免許取得についての構造や操作方法、安全講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業に関する装置の構造</li> <li>・取扱い及び作業方法</li> <li>・運転に必要な一般的事項</li> </ul>
4 フォークリフトの免許取得	<p>フォークリフトの免許取得の為の基本構造、運転方法、安全講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷役に関する装置の構造と取扱方法</li> <li>・運転に必要な力学</li> </ul>

科目	農業機械学	実習 2 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	樋口 康弘			
授業の到達目標	農業管理における、管理機械の使用方法や安全に行う注意点等を実際に動かしてみ、危険な行為や、楽な使い方を身に付ける。			
授業概要	圃場管理機械を実際に動かしての操作、作動、安全講義			
使用教科書	農業機械入門			
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・機械操作の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項目	教授内容
1 大型特殊機械(トラクター)の運転操作	実際に大型トラクターを運転させて、公道での走行や、圃場での操作技術を習得する。
2 小型特殊機械(運搬車・管理機)の運転操作	運搬車、管理機、草刈り機などを、圃場で運転、操作をして、機械の操作、安全に行う点などを習得する。
3 車両系建設機械(バックホー)の運転操作	バックホーについて、圃場での操作方法、安全に行う作業方法を実際に運転しながら指導する。
4 フォークリフトの運転操作	フォークリフトの運転・荷役の操作

科目	農業経営学	講義 3 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	吉川 昭、宮澤 雅子			
授業の到達目標	農業簿記の記帳方法を理解する。			
授業概要	農業簿記の一連の作業を解説し、例題に基づき記帳作業を行う。			
使用教科書	農業簿記検定教科書			
主な参考図書				
成績評価の方法	試験の結果、履修態度・出欠状況等により総合的に評価する。 試験は100点法により行い、50点以上を合格とする。50点未満の学生には再試験を行うことができる。			

授業計画	
項目	教授内容
1 企業的経営者になるため必要な基礎知識	経営とは、経営するために必要な3要素、経営者が果たす役割
2 農業簿記の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸借対照表、損益計算書、複式簿記について</li> <li>・仕訳票の記帳</li> <li>・決算書の作成</li> </ul>
3 農業法人合同説明会	農業法人からのプレゼンテーション、個別面談
4 先進地視察研修	新品種開発、課題解決のための技術開発
5 先進農家視察研修	当地域で栽培することも問題点や苦勞している点
6 青年農業者プロジェクト活動コンクール	意見発表、プロジェクト発表
7 農産物直売所視察	果樹の品種と種類、出荷・販売状況、価格設定、鮮度
8 農業次世代人材投資事業	交付要件、交付対象者、交付対象者の手続き

科 目	農業汎論	講義 2 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	笹脇 彰徳、近藤 賢一、今川 昌平			
授業の到達目標	農業全般を取り巻く情勢や制度について理解する。			
授業概要	農業全般を取り巻く情勢や制度について解説する。			
使用教科書				
主な参考図書	講師作成資料			
成績評価の方法	試験の結果、履修態度・出欠状況等により総合的に評価する。 試験は100点法により行い、50点以上を合格とする。50点未満の学生には再試験を行うことができる。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 果樹をめぐる情勢	果樹の品目別生産量、果実の需要構造、果樹の生産動向等
2 農業次世代人材投資事業	準備型の交付対象要件、申請手続き、報告義務、交付停止、返還
3 農業経営指標	粗利益、経営費、農業所得、農業所得率、労働時間
4 マーケティング論	ブランド戦略、商品の差別化、顧客ターゲット、競争要因戦略、製品ライフサイクル
5 農家体験研修報告	主な作業、勉強になったこと、作業で参考になったこと、感想等
6 授業アンケート	改善してほしいこと、良かったこと、もっと教えてほしいこと等をレポートにまとめる。
7 将来の農業経営レポート	自分の目指す農業経営についてレポートにまとめる。
8 日本農業新聞の最近の話題	達人列伝、未来人材、一村一品、論説等

科 目	果樹育種学	講義 1 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	山近 龍浩			
授業の到達目標	長野県南信地域の特産果樹であるニホンナシやカキ、長野県を代表する果樹であるリンゴの品種育成、栽培導入の歴史を学ぶ。			
授業概要	ニホンナシ、カキ、リンゴの品種育成と栽培導入について解説する。			
使用教科書	果樹指導指針、講師が準備した資料			
主な参考図書				
成績評価の方法	試験の結果、履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。試験は100点法により行い、50点以上を合格とする。50点未満の学生には再試験を行うことができる。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 長野県におけるニホンナシ栽培の歴史	長野県におけるニホンナシの主要品種の変遷と品種の特徴、導入の背景について
2 ニホンナシの品種育成の歴史	「二十世紀」とその後代品種を中心とした育種、現在の主要品種の来歴、南信農業試験場で育成したニホンナシ品種について
3 長野県におけるカキ栽培の歴史、カキの品種育成について	長野県におけるカキ栽培、干し柿加工の歴史について。国内におけるカキ栽培の現状について
4 長野県におけるリンゴ栽培の歴史	長野県におけるリンゴの主要品種の変遷と品種の特徴、導入の背景について
5 リンゴの品種育成の歴史	「ふじ」「つがる」の品種的特長について。長野県におけるリンゴ育種の歴史について。
6 種苗法について	生産者が知っておくべき種苗法について

科 目	果樹育種学	実習 2 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	山近 龍浩			
授業の到達目標	実践を通じて果樹の栽培に必要な基礎知識や基本技術を学ぶ			
授業概要	ニホンナシの生理生態や基本的な栽培管理に必要な知識と技術を身につける			
使用教科書	目で見える果樹の生態、果樹指導指針			
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 生態調査	発芽、展葉、開花はじめ、満開期、落花期について観察する。
2 ニホンナシ交配の実習	ニホンナシにおける受粉を行う。
3 接ぎ木の基礎	台木への接ぎ木実習による苗木繁殖を行う。
4 着果管理	結実管理技術を習得する。
5 実生園の樹体管理	新梢の適心、切除、誘引、防鳥網設置などを行う。
6 収穫期の判定、果実品質調査	収穫、選果、果実品質調査を行う。

科 目	植物生理学	講義 1 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	島袋 稚子			
授業の到達目標	果樹栽培に関わる基礎的な植物生理の知識を身につける。			
授業概要	果樹栽培に関わる基礎的な植物生理を学ぶ。			
使用教科書	果樹指導指針			
主な参考図書				
成績評価の方法	試験の結果、履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。 試験は100点法により行い、50点以上を合格とする。50点未満の学生には再試験を行うことができる。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 植物体(果樹)の各器官	各器官の構造と働き
2 光合成	光合成の仕組みと条件
3 結果習性	各樹種により開花・結実の違い
4 発芽、開花	発芽、開花に係わる生理
5 受精・結実	受精・結実に係わる生理
6 果実肥大	果実肥大に係わる生理



科 目	植物生理学	実習 1 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	島袋 稚子			
授業の到達目標	ほ場で果樹の栽培管理作業を通して、各器官の発育過程や生理現象を観察し理解する。			
授業概要	実科・研究科合同によるほ場での実習と観察を行う。			
使用教科書	果樹指導指針			
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 発芽	発芽期の観察
2 開花(受精)	開花期の観察
3 結実	結実期(結果習性)の観察
4 果実肥大	果実肥大初期の観察
5 花芽分化	花芽分化期の観察
6 果実肥大	果実肥大後期の観察
7 果実成熟	果実成熟期の観察
8 落葉、休眠	休眠期の観察

科 目	果樹園芸学	講義 2 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	等々力 友也			
授業の到達目標	ナシ・カキの効率的・持続的な栽培・果実生産システムに関する基礎学力を有する。			
授業概要	ナシ、カキの栽培技術、成熟生理など果実の生産・利用に関して学習する。			
使用教科書	果樹指導指針			
主な参考図書				
成績評価の方法	試験の結果、履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。 試験は100点法により行い、50点以上を合格とする。50点未満の学生には再試験を行うことができる。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 果樹の種類、品種と栽培適地	果樹の分類、ナシ・カキの品種、生態、気候、土壌条件
2 苗木の生産と果樹園の開設	接木・挿し木・組織培養、開園と苗木の栽植
3 開花と結実管理、果樹の成長・発育と成熟	果樹のライフサイクル、花芽形成、開花と結実 果実の発育・成熟生理と要因
4 土壌管理と施肥	水分生理と土壌管理 樹体栄養、光合成と施肥
5 収穫後の果実の取扱い	収穫後の果実生理と貯蔵・流通
6 病虫害防除と生理障害	病虫害の防除方法、果実の生理障害
7 果樹の結果習性	ナシ・カキの結果習性
8 整枝・せん定	ナシ・カキの整枝・せん定の理論

科目	果樹園芸学	実習 4 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	等々力 友也			
授業の到達目標	ほ場での栽培管理や観察を通して、果樹に対する興味と関心を深める。			
授業概要	実際に果樹実験ほ場に出て、ナシ・カキの栽培技術や果実生理を体験する。			
使用教科書	果樹指導指針			
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項目	教授内容
1 苗木の生産	接ぎ木、台木の播種
2 早期の結実調節	ナシの芽すぐり、花芽かき取り、摘らい
3 摘果作業、着果管理	ナシ・カキの予備摘果と仕上げ摘果、適正着果量
4 袋掛け	「南水」「二十世紀」の袋掛け
5 新梢管理	芽かき、新梢誘引、若木の新梢管理
6 収穫と貯蔵	収穫適期の判定、収穫方法 貯蔵方法
7 整枝・せん定	基本樹形と整枝・せん定の考え方

科目	病理学	講義 1 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	萬田 等			
授業の到達目標	植物病害の生態的特徴について理解する。 果樹の病害防除の考え方を理解する。 総合的病害虫管理(IPM)の考え方を理解する。			
授業概要	果樹病害に関する基礎知識の習得			
使用教科書	果樹指導指針、農作物病害虫・雑草防除基準			
主な参考図書	果樹の病害虫ほか			
成績評価の方法	試験の結果、履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。 試験は100点法により行い、50点以上を合格とする。50点未満の学生には再試験を行うことができる。			

授業計画	
項目	教授内容
1 植物病害概論	植物病害とは
2 植物病害の特徴	糸状菌、細菌、ウイルスほかの形態的特徴、生態的特徴、伝染環
3 果樹の病害	果樹類(ナシ、カキほか)の病害の特徴
4 果樹の病害防除とIPM	IPMの基本的な考え方
5 薬剤抵抗性管理	病害、害虫、除草剤の薬剤抵抗性管理、RACコード
6 危害防止	薬剤処理作業中の危害防止、水質および土壌の汚濁防止、農薬残留対策、農薬の管理方法ほか

科目	病理学	実習 1 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	萬田 等			
授業の到達目標	果樹(ナシ、カキほか)の病害の特徴を理解する。			
授業概要	果樹病害に関する基礎知識の習得(ほ場診断他)			
使用教科書	果樹指導指針、農作物病害虫・雑草防除基準			
主な参考図書	果樹の病害虫ほか			
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項目	教授内容
1 日本なしの主要病害	黒星病、黒斑病、赤星病、白紋羽病の発生時期と病徴
2 洋梨の主要病害	輪紋病の発生時期と病徴
3 カキの主要病害	円星落葉病、うどんこ病、炭疽病の発生時期と病徴
4 病害虫雑草防除	病害虫雑草防除概論
5 薬剤処理機	スピードスプレーヤ、動力噴霧器、土壌灌注器などの使用方法
6 危害防止	薬剤処理作業中の危害防止、水質および土壌の汚濁防止、農薬残留対策、農薬の管理方法ほか

科 目	昆虫学	講義 1 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	布山 佳浩			
授業の到達目標	昆虫の生態的特徴について理解する。 総合的病害虫管理(IPM)の考え方について理解する。 防除歴の考え方を理解し、防除の要否を判断する力を身につける。			
授業概要	果樹害虫に関する基礎知識の習得			
使用教科書	果樹指導指針、農作物病害虫・雑草防除基準			
主な参考図書	新応用昆虫学他			
成績評価の方法	試験の結果、履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。 試験は100点法により行い、50点以上を合格とする。50点未満の学生には再試験を行うことができる。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 害虫とは	害虫とは何か?
2 昆虫の特徴	昆虫の基本形態
3 昆虫の内部形態	昆虫の内部形態
4 昆虫の生態的特徴	変態・内分泌・外分泌について
5 害虫防除とIPM	IPMの基本的な考え方
6 果樹の害虫	主要な害虫種とその被害
7 害虫の生活環	害虫の生活環について
8 果樹における害虫防除	農薬の種類・作用点、防除方法 防除歴の考え方

科 目	昆虫学	実習 1 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	布山 佳浩			
授業の到達目標	昆虫の生態的特徴について理解する。 総合的病害虫管理(IPM)の考え方について理解する。 防除歴の考え方を理解し、防除の要否を判断する力を身につける。			
授業概要	果樹害虫に関する基礎知識の習得(ほ場診断他)			
使用教科書	果樹指導指針、農作物病害虫・雑草防除基準			
主な参考図書	新応用昆虫学他			
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 開花期頃の害虫	開花期前後に発生する害虫の診断と防除法について
2 幼果期の害虫	幼果期頃に発生する害虫の診断と防除法について
3 主要なカイガラムシ類	ナシ・カキに発生するカイガラムシの特徴と被害、防除法について
4 ダニ類	ナシに発生するフシダニ・ハダニ類の被害と防除法について
5 シンクイムシ類の被害	ナシ果実に発生するシンクイムシ類の被害と防除法について
6 果樹の枝幹害虫	ヒメボクトウ等の枝幹害虫の被害と防除法について
7 SSを使った防除について	防除薬剤の計量と希釈、散布について
8 防除歴	年間の防除スケジュールの確認と本年の発生状況

科 目	土壌肥料学	講義 1 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	塩原 孝			
授業の到達目標	作物栄養学及び肥料学についての基礎知識を習得する。			
授業概要	教科書とプリントを用いての講義と簡単な実験			
使 用 教 科 書	土と微生物と肥料のはたらき			
主 な 参 考 図 書	土壌肥料用語事典、自作プリント資料、作物栄養診断カード			
成績評価の方法	試験の結果、履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。 試験は100点法により行い、50点以上を合格とする。50点未満の学生には再試験を行うことができる。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 作物の必須元素	必須17元素の説明
2 作物の主な養分欠乏・過剰症	主に写真を用いての養分欠乏・過剰症の紹介
3 主な養分の動態	窒素、リン酸等の植物—土壌を含む環境間での循環についての説明
4 肥料及び土壌改良資料の種類	化学肥料、有機質肥料、たい肥等の有機物及び政令指定土壌改良資料の説明



科 目	土壌肥料学	実習 2 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	塩原 孝			
授業の到達目標	簡易な栄養診断技術を習得する。			
授業概要	ナシ葉の葉色測定、ナシ園土壌の土壌溶液中窒素動態のモニタリング			
使用教科書	土と微生物と肥料のはたらき			
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 ナシ葉の葉色測定	葉緑素計を用いて施肥レベルの異なるナシ葉の経時的な葉色測定
2 土壌溶液中窒素動態のモニタリング	施肥レベルの異なるナシ園土壌の土壌溶液中窒素濃度の経時的モニタリング

科目	農場実習	実習 9 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	南信農業試験場職員			
授業の到達目標	なしの栽培技術から選果方法、出荷方法の基礎的な技術、知識の修得 かきの栽培から加工までの基礎的な技術の習得			
授業概要	年間を通じて一連の作業を実習する。			
使用教科書	果樹指導指針、農作物病虫害・雑草防除基準、土と微生物と肥料のはたらき、農業機械入門			
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項目	教授内容
1 なしの栽培技術の習得	花摘み、人工授粉、摘果、収穫、選果、剪定
2 柿の栽培・加工技術の習得	摘果、収穫、剥皮、燻蒸、剪定
3 選果方法、出荷方法の習得	選果の仕方と出荷荷造り
4 農業機械の運転操作	トラクター、運搬車、管理機、草刈り機、バックホーの運転操作
5 環境整備	試験場内の清掃、整理

科目	現地実習	実習 2 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:有		
担当講師	先進農家:先進農家から長年の経験による匠の技術を伝授してもらう。			
授業の到達目標	先進農家体験研修等を行い、先進農家の生産から販売に至る農業経営を理解する。			
授業概要	先進農家で体験研修を実施する。			
使用教科書				
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況、研修報告書等により総合的に評価する。			

授業計画	
項目	教授内容
1 先進農家体験研修	技術の習得、効率的な作業の進め方、販路拡大、加工品の販売

科 目	特別講座	講義 1 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:有		
担当講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妹尾堅一郎:ビジネスモデルの専門家として、国内及び海外ビジネスモデルについて講義</li> <li>・大久保和孝:公認会計士という会計の専門家として経営管理について講義</li> <li>・田中進:先進農業者として次代の農業のあり方について講義</li> <li>・先進農業者、農業関係団体・企業による栽培技術、農業経営モデル等の講義</li> </ul>			
授業の到達目標	先進農家や農業関係団体・企業による栽培技術、農業経営モデル、農産物加工等について理解を深める。			
授業概要	外部講師、先進農家等による特別講義			
使用教科書				
主な参考図書	講師作成資料			
成績評価の方法	履修態度・出欠状況等により総合的に評価する。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 先端農業ビジネスモデル	妹尾堅一郎氏による海外ビジネスモデルに関する講義
2 農業経営と地域が求めるリーダー	大久保和孝氏による農業経営計画に関する講義
3 農業の新しいカタチを創る	田中進氏による強い農業現場を構築するための講義
4 先進農家、若手農業経営者	先進農業者による栽培技術及び農業経営等についての講義
5 果実加工と六次産業化	農業関係団体・企業による果実加工工場の実情と六次産業化についての講義
6 果樹共済・収入保険制度	NOSAI職員による講義
7 青果流通	青果物の流通経路、販売価格の決定要因等の講義

科 目	保健体育	実習 1 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	学生部長、学生部担当、教務担当、消防署職員			
授業の到達目標	卓球のスマッシュの技術と回転サーブを習得する。 心肺蘇生法と応急手当を習得する。			
授業概要	体育大会に向けて卓球を練習するとともにAEDの講習会に参加する。			
使用教科書				
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況等により総合的に評価する。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 卓球	スマッシュ、サーブ、ダブルスのルール等
2 合同体育大会	体育大会への参加
3 救急救命講習	AEDの使い方、応急手当の基本
4 健康診断	健康診断の受診
5 大掃除	トイレ、学生玄関、教室、学生準備室の清掃

科 目	情報処理	講義 1 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	近藤 賢一			
授業の到達目標	Windowsパソコンの基本ソフトおよびビジネスメールの基本について理解する。			
授業概要	コンピュータ利用の基礎を講義する。			
使用教科書	配布資料、Web資料			
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 ソフトについて(Word)	レポート作成とWord
2 ソフトについて(Excel)	卒論作成とExcel
3 ソフトについて(PowerPoint)	プレゼンとPowerPoint
4 パソコンのスキルについて	タイピング力、集計・グラフ作成、文書作成、プレゼン資料の作成
5 ビジネスメールの基本について	メールの基本の形、書き方と作成時の注意点(マナー)

科目	情報処理	実習 1 単位 演習 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	近藤 賢一			
授業の到達目標	Windowsパソコンの基本ソフトを利用できるようにする。卒業研究を行なうのに必要な知識や技能を身につける。			
授業概要	Word,Excel,PowerPointで、実践的な利用方法を実習する			
使用教科書	配布資料、Web資料			
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項目	教授内容
1 Wordによる文書作成	ビジネス文書を作成する
2 Excelによる表計算	作表、書式について実習する
3 Excelによる表計算	集計・平均について実習する
4 Excelによる表計算	データベースの手法について実習する
5 PowerPointの利用	プレゼン資料を作成する

科 目	農産加工	講義 1 単位 演習 単位	形態:講義	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	松原 寿子			
授業の到達目標	食品加工の必要性と利点を理解する。			
授業概要	農産物に物理的・科学的・生理的な操作を加え、食生活をより豊かにする新しい食品を作り出すことを解説する。			
使用教科書				
主な参考図書	自作プリント資料			
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・加工作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 食品加工とは	家庭的な食品加工から大規模な食品製造
2 食品加工の必要性と利点	農産物の貯蔵性を増す、農産物の価値を高める、農産物価格の下落を防止する。 農産物の副産物利用。
3 加工食品の種類	農産加工食品、畜産加工食品、水産加工食品の加工操作
4 加工食品の用途分類	主食品、副食品、調味料、嗜好品
5 食中毒菌と対策	特徴、原因食品、症状、予防及び殺菌方法



科 目	農産加工	実習 1 単位 実験 単位	形態:実習	南信農業実科
講義時期:前期・後期		実務経験者による講義の有無:無		
担当講師	松原 寿子			
授業の到達目標	地元の農産物を使い、食品加工の製造原理を学ぶ。			
授業概要	農産加工品の製造方法を解説しながら一緒に製造する。			
使用教科書	講師作成資料			
主な参考図書				
成績評価の方法	履修態度・出欠状況・加工作業の正確性等により総合的に評価する。			

授業計画	
項 目	教 授 内 容
1 いちごジャム	殺菌処理
2 手造り味噌	醸酵、醸成の変化と管理
3 よもぎ餅	こしあんと粒あんの違い
4 梅の加工	梅ジャム、梅みそ
5 夏野菜を使って	夏野菜ソース、夏野菜いっぱいピザ
6 梨の加工	梨の酢漬け、梨の赤ワイン煮、ドライ梨
7 トマトケチャップ	殺菌処理
8 いもこんにやく	あく抜きの方法